

第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会

スイーツセミナー6

# 抗菌薬TDMガイドライン における バンコマイシンの改訂ポイント

日時

2021年1月31日(日)  
15:00 ~ 16:00

会場

第5会場

座長

高橋 一栄 先生  
大阪府済生会野江病院 薬剤科 部長

演者

松元 一明 先生  
慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 教授

LIVE  
配信

本セミナーの視聴方法は学会大会HPをご参照ください。  
ご視聴前に学術大会への参加登録が必要です。

LIVE視聴サイト：2021年1月29日(金) 公開予定

共催：第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会/日医工株式会社

<https://site2.convention.co.jp/42jshp-kinki>

# 抗菌薬TDMガイドライン における バンコマイシンの改訂ポイント

慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 教授

**松元 一明** 先生

バンコマイシン(VCM)はPK/PD評価に基づくと、有効性の指標はAUC/MIC 400以上で、腎障害を回避する目標AUCは $600\mu\text{g}\cdot\text{h}/\text{mL}$ 以下であることが示されている。したがって、MRSAに対するVCMのMICはほとんど $1\mu\text{g}/\text{mL}$ 以下であるため、VCMの目標AUCは $400\text{-}600\mu\text{g}\cdot\text{h}/\text{mL}$ となる。これまで臨床ではVCMのトラフ値をAUCの代替指標として使用してきた。しかし、トラフ値よりAUCを指標とした方が腎障害の発現率を有意に低下させることが報告された。

2020年度の抗菌薬TDMガイドラインの改訂版ではAUCの評価が推奨されている。AUCの評価は、日本人の母集団薬物動態パラメータを組み込んだBayesian法によるソフトウェアを使用し、1ポイント採血でもAUCを求めることは可能であるが、正確にAUCを算出するためには2ポイントの採血(トラフ値とピーク値)が必要である。